

平成25年10月30日

日清製粉グループ 第2四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

当第2四半期連結累計期間は売上高2,393億22百万円、経常利益118億45百万円。

[平成26年3月期第2四半期連結累計期間決算]

㈱日清製粉グループ本社（社長 大枝 宏之）の平成26年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、円安・株高を背景とした個人消費の持ち直しや輸出産業を中心とした企業業績の改善等、緩やかな景気回復の動きが見られましたが、一方で輸入原材料価格や電力コストの上昇、消費者の低価格志向の継続等、当社を取り巻く環境は依然として厳しいものとなりました。このような中、当社はトップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」の取組みを加速し、各事業において積極的な販売促進施策を推進しました。海外展開においては、平成26年秋の稼働予定でベトナムのホーチミン市近郊に調理加工食品工場を建設することを決定し、本年6月に現地法人を設立しました。さらに、タイ日清テクノミック㈱の生産能力を平成26年末までに約25%増強すべく、増設に着工しました。なお、M&Aを含む積極的な施策により、海外売上高比率は10%を超え、海外事業は順調に拡大しております。また、本年4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で9.7%引き上げられたことを受け、製品価格の改定を実施しました。

この結果、第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は製粉事業及び食品事業の出荷増やM&Aにより取得した海外子会社の連結効果等により2,393億22百万円（前年同期比107.9%）となりました。利益面では、出荷増及び全社的なコスト削減の取組みに加え、製粉事業においてふすま価格が堅調に推移したことにより、営業利益は103億5百万円（前年同期比104.0%）、経常利益は118億45百万円（前年同期比103.3%）、四半期純利益は71億19百万円（前年同期比104.2%）となりました。

なお、平成25年10月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。平成26年3月期期末配当予想につきましては、株式分割に伴う1株当たりの配当金の調整は行わないため、実質増配となる予定です。また、同日付で単元株式数を500株から100株に変更しました。

[平成26年3月期通期連結業績予想]

我が国の経済は、デフレ脱却と経済再生に向けた政策効果を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られますが、一方で、輸入原材料価格上昇等のコストアップ要因、平成26年4月からの消費増税等、当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しいことが予想されます。このような状況におきましても、当社は各事業において安全・安心な製品を安定的に供給するとともに、トップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大に向けて中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」で策定した戦略施策を積極的に実行してまいります。

以上の結果、平成26年3月期の業績見通しにつきましては、当初の予想を据え置き、売上高は4,900億円（前期比107.6%）、営業利益は237億円（前期比109.0%）、経常利益は263億円（前期比106.3%）、当期純利益は160億円（前期比116.9%）としております。

以 上